

# 令和四年度 第21回 「女と男の一行詩」

応募者数 335名  
 応募総数 723点



## 【優秀賞】

「男だから」「女だから」  
 そうじゃなくて  
 「あなただから」

男女共同参画というテーマについて考えた時に最近女性議員の活躍が目につくことがあり、女性議員がもっと増え、より良い日本になればいいな、と思い詩を書きました。

押切 ゆかさん (高校生)

## 【優秀賞】

国会に  
 まだまだ足りない  
 女性議員

男女共同参画というテーマについて考えた時に最近女性議員の活躍が目につくことがあり、女性議員がもっと増え、より良い日本になればいいな、と思い詩を書きました。

中野 大和さん (高校生)

## 【入選】

ロッカーに  
 いろんな色の  
 ランドセル

安藤 颯斗さん (高校生)

男女でも  
 家賃は同じ給料は？

物価は同じなのに給料には差がある、この差が少しでも縮まってほしいと思ってきました。男女が公平で暮らしやすい世の中になることを願っています。

山崎 かえでさん (高校生)

男女共同参画は  
 子どものためだけでなく  
 子どもの未来のため

鷲見 光紀さん (高校生)

## 【最優秀賞】

手伝うよ  
 違うよ、あなたも  
 主人公

役割に男性も女性も無く、「手伝うよ」ではなく、みんなの役割なのではないかと思えます。みんなが豊かな社会を作っていくければと思います。書きました。

菊池 莉音さん (中学生)

男女共同参画をテーマに募集しました「女(ひと)と男(ひと)の一行詩」について、応募総数723点の中から選ばれた6名の入賞者が決定し、賞状と図書カードが授与されました。多くの皆さまから作品のご応募や投票をいただきまして誠に感謝申し上げます。

「女(ひと)の一行詩」とは、形式のない川柳のよつなものです。「男性の家庭や地域への参画」「女性の活躍」「ワーク・ライフ・バランス」の仕事と生活の調和「など、男女共同参画をテーマに会社や学校、地域や家庭で感じる思いを十管内在住・在勤・在学の方を対象に募集しました。

市民活動課



- もう令和 はずして見よう 色めがね
- 家に帰り ごはんできてる 奇跡なんだよ
- あたりまえ そんなことは ありえない
- 感謝の気持ち忘れずに言葉に出して「ありがとう」
- 俺の恋人は 男の子です。
- 言われると みんながうれしい ありがとう
- 生き方は 自分で選べる 良い社会
- 色かたち みんなちがう それが良い◎
- 伝え合おう 伝えてわかることが たくさんある
- おばあさん 山へしばかり おじいちゃん川へ洗濯 これもすてきだ
- 学ぶ場で きょうし(教師)が作る 男女の差
- LGBTQ 色んな人がいる世界
- 家事なんて 早く二人で終わらせて、ゆっくりお茶でも飲みましょう
- 支え合い 互いを認めたら その先に明るい未来輝く社会

### 【講評】

今年度の選考を通して、私たち選考委員が感じたことは、身近な何かに「気づく」ということでした。育児休業法の改正により、今年十月から「産後パパ育休」が始まりました。この制度は、男性の育児参加を促す一方で、見方を変えると、男性が家事や育児について自分の責任と義務があることを、公式的に明らかにした制度であると、考えることも出来ると思います。このような社会情勢の中で、私たち選考委員は、「手伝うよ 違うよ」という言葉に、大きく心を揺さぶられました。それが何であるのかは、うまく言葉に表すことができません。しかし、続いて「あなたも 主人公」と語りかけられたとき、はじめて私たちは、従来の性別役割分業のあり方を見つめなおし、男女の協働を考え直すことができたと思います。今回の入選作品は、やがて帯広市のまちづくり全体の道標となり、帯広市の市民一人ひとりが「まちづくりの主人公」になることを予感させるものであり、次世代を担う若い皆さんの作品であるという事実が、この予感をさらに「確信」へと変えさせてくれました。

帯広市では同性パートナーシップ制度が始まり、多様な性に対する公的な配慮が行われることになりました。社会をあげて男女共同参画の取り組みがはじまってから長い時間が過ぎました。しかしながら、男女共同参画や女性の活躍が十分かといえば、依然、多くの困難が社会に存在しています。帯広市の一行詩も今年で二十一回目を数えます。もし、何か少しでも「昔より良くなった」と感じるところがあったとしたら、それは、これまで帯広市で、男女共同参画に取り組んできた、数多くの先人たちが「子どもの未来のため」に努力してきたからに、他ならないと思います。選考委員の一人として、皆さんの作品に触れることができた喜びを心から感謝申し上げます。どうか皆さんのアイデアと工夫で、これからも帯広市の「共生の未来の扉」を大きく開いていけることを、心から祈念しています。

選考委員長 岡庭 義行